

事業計画書目次

[環境創造局]

8款4項1目

(単位：千円)

計画 書頁	事業名	令和5年度		令和4年度		増△減(5-4)		新規・ 拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	協働緑化推進事業	3,255	3,201	534	480	2,721	2,721	
2	自然観察の森事業	32,921	32,910	31,487	31,487	1,434	1,423	
3	よこはま協働の森基金事業	8,110	80	8,128	80	△ 18	0	
4	環境活動支援センター管理運営費	20,615	19,301	22,714	21,406	△ 2,099	△ 2,105	
5	ガーデンシティ事業	232,510	232,497	252,180	252,178	△ 19,670	△ 19,681	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
	計	297,411	287,989	315,043	305,631	△ 17,632	△ 17,642	

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局 みどりアップ推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他			1	目	枝番号		
歳出予算科目	一般会計	8	款	4	項		前年度事業名称	協働緑化推進事業
事業名称	協働緑化推進事業			政策番号	31	政策指標	2	施策番号 3 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	使用料及び手数料	市債	一般財源
令和5年度	3,255			54		3,201
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	534			54		480
増△減	2,721	0	0	0	0	2,721

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		1,080	640	576	576	576	576
市債+一般財源		1,026	586	576	522	522	522
決算		101	118	127			
市債+一般財源		74	10	127			

事業概要	市民等の緑環境行動の支援を行い、市民の緑に対する理解と取組の促進を図ります。 また、民有地緑化を推進するため、緑地協定を認可するとともに、緑化地域制度の運用が円滑に進むよう、地域地区の変更に伴う業務、窓口審査業務及び違反対策業務を行います。							
事業開始年度	ばら制定都市会議：平成4年度 京浜の森づくり事業：平成15年度 緑化地域制度：平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	①緑環境行動支援事業 京浜の森づくり協働緑化支援事業の運営に関する要綱 他 ②緑地協定事業 都市緑地法・横浜市都市緑地法施行規則 ③緑化地域制度 都市緑地法・横浜市都市緑地法施行細則							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	①緑環境行動支援事業 ・ばら制定都市会議等へ参加し、他都市の動向などの把握ができた。市民等の緑に対する理解と取組を促進する必要がある。 ・ばら制定都市会議等への参加や京浜の森づくり事業の実施などにより、市民等の緑環境行動を広報・支援することで、市民の緑に対する理解と取組を促進します。 ②緑地協定事業 ・都市緑地法に基づき、市街地の良好な環境を確保するため、緑化に関する協定について認可する。 ・都市緑地法に基づき、市街地の良好な環境を確保するため、一定の区域における緑地の保全又は緑化に関する協定について認可事務等を行う。 ③緑化地域制度推進事業 ・緑化地域制度にかかる窓口審査及び違反対策業務を行います。(平成21年度) ・令和5年度の緑化地域制度拡充(都市計画変更)に向けた、関係者への説明や関係機関との協議に必要となる資料作成および関連調査を行います。今年度は制度改正年となるため、制度に関連した概要、手引き等についての見直し作業を実施します。(継続) ・国交省による緑化施策を普及啓発するため、全国の都市を対象とした緑化地域制度連絡会を開催することとし、本制度を導入している4都市が交代で事務局となって会議の運営を実施しています。令和5年度は連絡会の開催はありませんが、本市においても国と連携して制度の普及啓発に努めます。(平成23年度)							
根拠・データ等	・緑地協定事業 協定認可数累計 ・緑化地域制度 許可数累計							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
緑環境行動支援事業	単位	目標	推進	推進	推進	推進		
		実績	推進	推進				
緑地協定の認可	単位	目標	推進	推進	推進	推進		
	地区	実績	0地区 (累計274地区)	0地区 (累計274地区)				
緑化地域制度	単位	目標	490	426	推進	推進		
	件数	実績	319	351				
事業スケジュール	①緑環境行動支援事業 ばら制定都市会議、花と緑のまちづくり全国首長会、京浜の森づくり事業協働支援 通年 ②緑地協定事業 受付・認可(通年) ③緑化地域制度 審査・許可・パトロール(通年)、緑化地域制度拡充に向けたスケジュールは次の通り 令和4年度:緑化地域拡充に向けた条件整理、基準改定、庁内調整など 令和5年度:緑化地域拡充に向けた資料作成(緑化地域制度の概要、手引き及び緑化協議などの資料) 令和6年度:都市計画決定(4月または7月)による緑化地域拡充(現在:住居系用途地域、拡充:商業系用途地域)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	緑環境行動支援事業	123	137	▲14
②	緑地協定事業	6	8	▲2	
③	緑化地域制度推進事業	3,126	389	2,737	緑化地域制度拡充に伴う資料作成のため
細事業合計		3,255	534	2,721	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	公園緑化協議担当
	中島 高志	片受 明	係 福島 知広

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	□ 新規 ■ 拡充		事業評価書番号	8-4-1			
事業区分	□ 施設等整備費		■ その他		新規拡充	□ 新規 ■ 拡充		事業評価書番号	1			
歳出予算科目	一般会計	8	款	4	項	1	目	枝番号	前年度事業名称			
事業名称	自然観察の森事業					政策番号	31	政策指標	2	施策番号	2	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	使用料及び手数料	市債	一般財源
令和5年度	32,921			11		32,910
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	31,487			0		31,487
増△減	1,434	0	0	11	0	1,423

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	30,979	90,979	121,958	31,213	91,213	122,426	31,219	91,219	122,438	31,631	91,631	123,262	31,485	91,485	122,970	31,485	91,485	122,970
決算	31,267	91,267	122,534	30,705	90,705	121,410	31,085	91,085	122,170	31,631	91,631	123,262	31,485	91,485	122,970	31,485	91,485	122,970

事業概要	<p>横浜自然観察の森では、次の事業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察その他自然に親しむ学習活動の指導に関する事。 ・自然観察の調査及び研究に関する事。 ・自然保護活動の育成及び指導に関する事。 							
事業開始年度	昭和59年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜自然観察の森条例							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>横浜自然観察の森は、自然環境の中で植物及び昆虫、野鳥等の小動物と触れ合い、これらの観察を通じて自然保護思想の普及及び向上を図るために昭和60年度に設置されました。</p> <p>拠点施設である自然観察センターの入館者数については、施設改修後の平成24年度(42,770人)から平成29年度(49,578人)まで年々増加しており、生物多様性豊かな環境の維持のほか、緑への関心を高める環境教育の場としての充実が期待されています。</p> <p>そこで、本事業では環境教育、環境管理、環境調査など自然保護に対する理解を深める施設として指定管理者制度による運営を行い、来園者が安全に利用できるような園内の維持管理を行います。</p> <p>なお、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための閉館や緊急事態宣言等による外出制限がよびかけられたためセンター建物への入館者数は減少していますが、新しい生活様式が求められる中、心身の健康維持のため、自然観察の森及び周辺の市民の森への来訪者数は増加傾向にあり、ケガや急病など緊急時の対応も担っていることから、感染防止対策を行いながら利用者を受け入れていく必要があります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察センター利用者数 <実績推移>28年度48,985人、29年度49,578人、30年度42,621人、令和元年度27,710人、令和2年度20,362人、令和3年度27,272人、令和4年度49,000人(見込)令和5年度49,000人(見込) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
センター利用者数	単位	目標	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
	人	実績	20,362	27,272				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年度：自然観察の森開園 ・令和元年度：指定管理者公募、指定管理者選定評価委員会開催 ・令和2年度：指定管理者制度による管理運営の開始(令和6年度末まで) 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	自然観察の森事業	32,921	31,487	1,434	
	細事業合計	32,921	31,487	1,434		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	森づくり担当
	小田嶋 鉄朗	清水 恭子	竹内 章裕

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号					
事業区分	□ 施設等整備費		■ その他		1	目	枝番号						
歳出予算科目	一般会計	8	款	4	項	1		前年度事業名称	よこはま協働の森基金事業				
事業名称	よこはま協働の森基金事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	2	施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	財産収入	寄附金	市債	一般財源
令和5年度	8,110			30	8,000		80
補助事業 単独事業							0
令和4年度	8,128			48	8,000		80
増△減	△ 18	0	0	△ 18	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	8,159	8,139	8,127	8,110	8,110	8,110
	市債+一般財源	100	100	90	80	80	80
決算	事業費	3,429	3,199	5,056			
	市債+一般財源	1,019	0	△ 39			

事業概要	市民に身近な小規模樹林地を取得・保全するための基金を設置し、市民との協働により、緑の保全を図ります。								
事業開始年度	平成17年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働の森基金条例、横浜市付属機関設置条例、横浜市協働の森基金事業実施要綱 横浜市協働の森基金審査委員会運営要綱								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①市の特徴として、大都市でありながら市民生活の身近な場所に多くの樹林地を有しています。都市化とともに進む緑の減少を市民との協働により防ぎ、保全していく必要があります。</p> <p>②市民に身近な小規模樹林地（300㎡以上1,000㎡未満）を、市民との協働により取得、保全することを目的に設置した「横浜市協働の森基金」の拡充をはかるため、市として基金に積み立てるとともに、協働パートナーの取組のさらなる推進など、市民、企業、団体等からの寄附の拡大をはかります。</p> <p>また、毎月のホームページ更新等、引き続き制度PRを推進することで、制度の利用増加等が期待されます。</p>								
根拠・データ等	寄附実績等記録簿								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
基金残高	単位	目標	184,810	158,886	150,569	143,599	129,629	115,659	101,689
	千円	実績	185,849	164,521					
樹林地取得箇所数	単位	目標	1	1	1	1	1	1	1
	か所	実績	0	0					
樹林地保全箇所数	単位	目標	1	1	1	1	1	1	1
	か所	実績	1	1					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 寄附金受納（随時） 基金運用（年間） 								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	よこはま協働の森基金事業	8,110	8,128	▲ 18
	細事業合計	8,110	8,128	▲ 18	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	坂井 和洋	係長	木下 博文	公園緑地事業調整担当 係	緒方 瑞穂

令和 5年度 事業計画書

事業局課	環境創造局 環境活動支援センター 課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	8 款	4 項	1	目	前年度事業名称
事業名称	環境活動支援センター管理運営費			政策番号	31	政策指標
					2	実施番号
						2
						実施指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等		
		国	県	財産収入	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	20,615			660	654		19,301
補助事業							0
単独事業							0
令和4年度	22,714			660	648		21,406
増△減	△ 2,099	0	0	0	6	0	△ 2,105

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	23,775	24,244	23,395	20,615	20,615	20,615
市債+一般財源		22,678	23,029	22,082	19,301	19,301	19,301
決算	事業費	23,466	21,794	20,942			
市債+一般財源		22,993	20,974	20,147			

事業概要	農地を守り、緑を育む人材を育成するため、環境活動支援センター内の施設を活用して人材育成事業を実施します。また、人材育成事業の円滑な実施及び市民が安心して利用するため、環境活動支援センター各施設を適切に維持管理します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	都市公園法/同施行令/横浜市公園条例/横浜チャレンジファーマー支援事業実施要綱							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地を守り、緑を育む人材を育成するため、環境活動支援センター内のほ場、温室、実習展示場、交流スペース(ウェルムセンター)等の施設を活用して、新規就農希望の市民を対象とした研修や緑に関するボランティア活動の支援等を行います。また、人材育成事業の円滑な実施及び市民が安心して利用するため、環境活動支援センター各施設を適切に維持管理します。 「農と緑のふれあい祭り」を開催し、横浜の農業のPR、緑に関する活動を行う団体の紹介などを通じて、緑を守り、育むための普及・啓発を図ります。 横浜市内で新規就農を希望する市民等の参入の機会を増やすため、横浜市独自の就農に向けた研修を実施します。また、他の手法による参入者も含めて「横浜チャレンジファーマー」として認定し、就農後の支援を実施します。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業の実施や「農と緑のふれあい祭り」などを通じた普及・啓発をすることで、農地を守り、緑を育む人材の活動の推進につながります。 新規就農を希望する市民や就農後の支援を実施することで、担い手の確保につながります。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 主な施設 本館(907㎡) (うち交流スペース 58㎡)、実習展示場(375㎡)、園芸関係温室7棟(1,265㎡)、ほ場(2,000㎡) 横浜チャレンジファーマー認定者数 平成27年度3人、平成28年度0人、平成29年度3人、平成30年度3人、令和元年度3人、令和2年度2人、令和3年度2人 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
フォローアップ 研修	単位	目標	105	105	105	105	105	105
	回	実績	104	117				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動支援センターの管理運営(通年) 農と緑のふれあい祭りの実施(11月) 横浜チャレンジファーマー支援事業(募集12月~1月、研修の実施4月~翌年3月、認定審査会9月) 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	環境活動支援センター管理運営費		20,615	22,714	▲ 2,099
	細事業合計		20,615	22,714	▲ 2,099	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	平山 実	係長	中島 健一郎	係	大澤 詩晶

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	8-4-1			
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	2			
歳出予算科目	一般会計	8	款	4	項	1	目	枝番号	前年度事業名称			
事業名称	ガーデンシティ事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	1	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	232,510			13		232,497
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	252,180			2		252,178
増△減	△ 19,670	0	0	11	0	△ 19,681

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	予 算	386,200	386,200	314,200	232,510	232,510
市債+一般財源	286,200	286,200	280,200	232,497	232,497	232,497
決 算	280,675	251,488	260,933			
市債+一般財源	280,301	251,487	260,933			

事業概要	ガーデンシティ横浜のリーディングプロジェクトである「ガーデンネックレス横浜」により、都心臨海部の公園緑地や郊外部の里山ガーデンを中心に花と緑による魅力創出等の取組を進めるとともに、全市的な広報、プロモーションを展開します。							
事業開始年度	平成30年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市中期4か年計画[2018-2021] 戦略2、政策9							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 平成29年春に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」では、花と緑による街の魅力の向上、賑わいの創出、観光・MICEへの貢献や、花や緑に親しむ様々な主体の盛り上がり、機運の高まり等の成果がありました。ガーデンネックレス横浜2022春の来場者アンケートの結果からも、花や緑への関心が高まったと回答した方が約88%と大変多く、本取組が花や緑への関心を高めるきっかけとなることがわかりました。また、ガーデンネックレス横浜の継続的な実施についても「実施してほしい」が99%を超えていることから、市民からの期待が高いことがわかります。よこはまフェアからの継続した実施による成果を継承・発展させるためにも、さらなる継続的な取り組みが求められます。</p> <p>また、「ガーデンネックレス横浜」には、国際園芸博覧会開催に向けて、全市的な機運醸成につなげる側面があります。これを実現するためには、市民・企業・団体等多様な主体と連携したイベントや広報面での連携が求められますが、その関係性は短期間で築けるものではなく、「ガーデンネックレス横浜」での取組を通じて継続的に培っていく必要があります。</p> <p>②事業目的・効果 (1) 都心臨海部での花と緑による街の魅力創出と賑わいづくり 「ガーデンネックレス横浜」および「横浜ローズウィーク」を実施し、新しい生活様式に対応して、都心臨海部での花と緑による空間演出やイベントを多様な主体と連携しながら行うことで、来訪促進や満足度の向上に繋がります。 (2) 郊外部の里山ガーデンでの花と緑による魅力創出と賑わいづくり 里山ガーデンフェスタ運営(案内、会場管理、イベント)により、郊外部での花と緑による活性化拠点を形成します。 (3) 広報、プロモーションの展開 各種メディアを活用した広報・プロモーションの展開や、動画の制作や配信等による新たな花の楽しみ方の提案により、花や緑への関心を高めるとともに、全市・地域でのガーデンシティ横浜の推進に繋げ、国際園芸博覧会の開催に向けて機運を醸成していきます。</p>							
根拠・データ等	<p><ガーデンネックレス横浜2022来場者数> ・山下公園レストハウスインフォメーションセンター：82,565人 (令和4年3月26日～5月8日、44日間) ・里山ガーデンフェスタ：164,233人(令和4年3月26日～5月8日、44日間) <ガーデンネックレス横浜2022来場者アンケート調査(令和4年3月～6月実施)> ・花・緑への関心 来場を契機に更に高まった88.4%、あまり変わらない・以前より関心がない11.4% ・ガーデンネックレス横浜の継続的な実施希望 実施してほしい99.5%、実施する必要なし0.5%</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
花と緑によるまちの魅力創出と賑わいづくり	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	地区/年	実績	2	2				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>(1) 都心臨海部でのガーデンシティ横浜の推進：花の見頃(3月下旬～6月上旬)にあわせて集中的に展開 (2) 郊外部でのガーデンシティ横浜の推進：里山ガーデンフェスタの開催(3月下旬～5月上旬、9月中旬～10月中旬) (3) 広報、プロモーションの展開：花の見頃(春：3月下旬～6月上旬、秋：9月中旬～10月中旬)にあわせて集中的に展開</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	ガーデンシティ事業	232,510	252,180	▲ 19,670	プロモーション、運営方法の見直しによる減
	細事業合計	232,510	252,180	▲ 19,670		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	ガーデンシティ推進担当
	小田嶋 鉄朗	小野澤 圭介	松田 真依